

3-3-4 回復状況に基づくグループ分類と身体的・精神的状況との関係

【要旨】

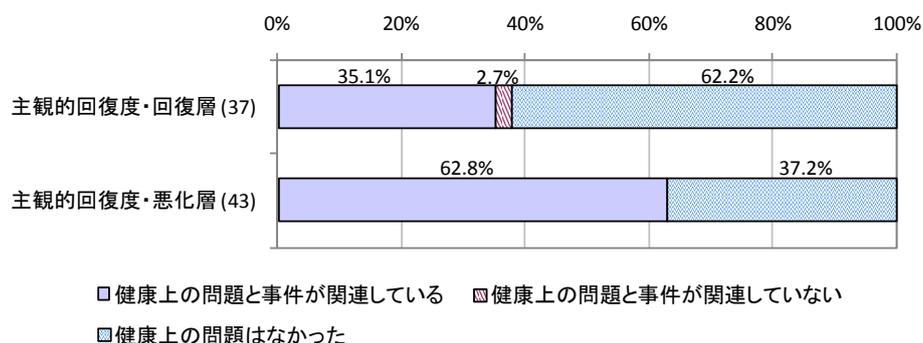
主観的回復度の「回復層」と「悪化層」では、身体・精神の状況が相当程度異なる。

回復層では、過去30日間に事件に関連した健康上の問題があったとする割合は35%であるのに対し、悪化層では63%となっている。同様に精神上の問題があったとする割合は、回復層46%、悪化層96%である。日常生活に支障をきたす日数は、回復層34日に対して悪化層は93日と約3倍。また、K6得点についても回復層の平均値7.24点に対し、悪化層は12.87点である。

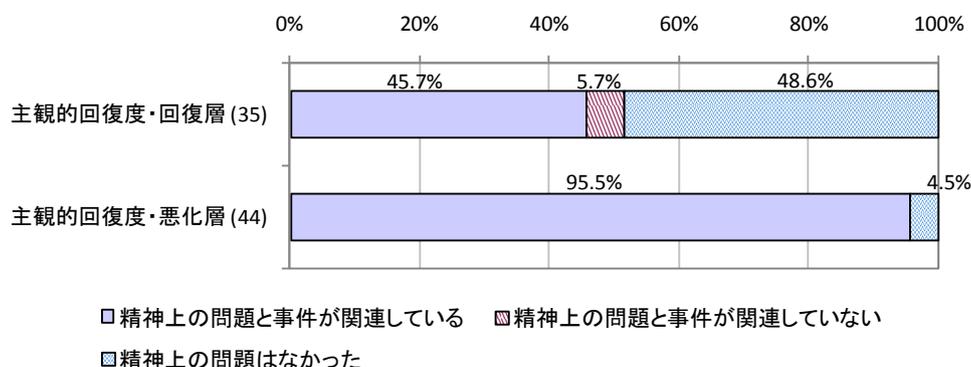
(2)健康上・精神上の問題

回復層では、過去30日間に事件に関連した健康上の問題があったとする割合は35%であるのに対し、悪化層では63%となっている。同様に、精神上の問題があったとする割合は回復層46%、悪化層96%である(図表3-59、図表3-60)。

図表 3-59 主観的回復度に基づくグループ別、事件に関連する健康上の問題
(平成21年度)



図表 3-60 主観的回復度に基づくグループ別、事件と関連する精神上の問題や悩み
(平成21年度)



(3)日常生活が行えなかった日数

心身の影響により日常生活に支障をきたす日数は、回復層 34 日に対して悪化層は 93 日と約3倍となっている。

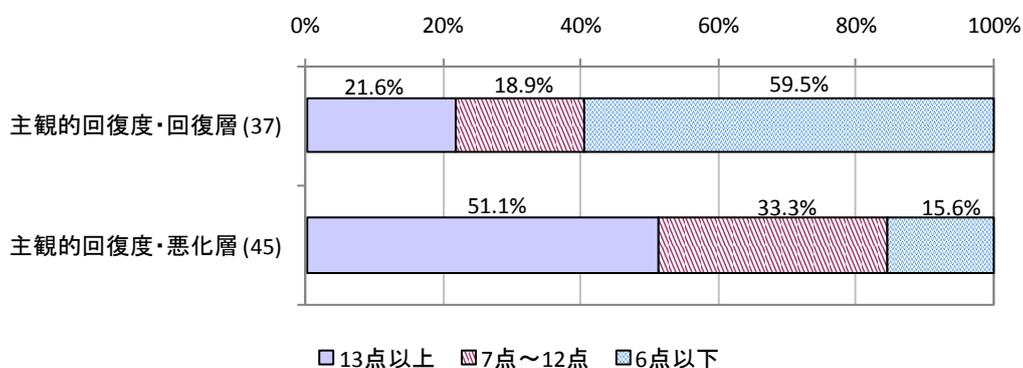
図表 3-6 1 主観的回復度に基づくグループ別、日常生活が行えなかった日数 (平成 21 年度)

	平均日数
主観的回復度・回復層(n=34)	34.4日
主観的回復度・悪化層(n=41)	93.1日

(4)精神健康状態 (K6)

回復層では、K6 得点の「6 点以下 (精神状態が正常)」が約6割に達する一方で、悪化層は「13 点以上 (重症精神障害)」が半数を超えており、両者の差は明確である。K6 得点の平均値も回復層が 7.24 点となっているのに対し、悪化層は 12.87 点である (図表 3-6 2、図表 3-6 3)。

図表 3-6 2 主観的回復度に基づくグループ別、K6 得点状況 (平成 21 年度)



図表 3-6 3 主観的回復度に基づくグループ別、K6 得点の平均値 (平成 21 年度)

	平均値
主観的回復度・回復層(n=37)	7.24
主観的回復度・悪化層(n=45)	12.87